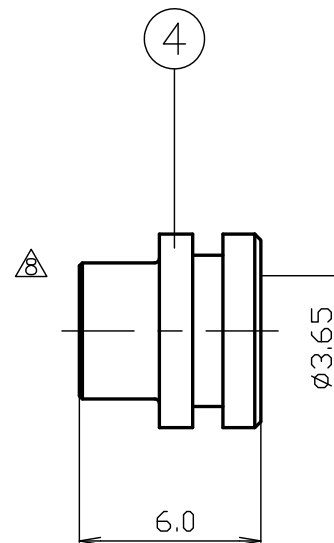
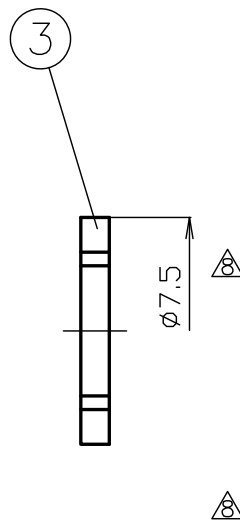
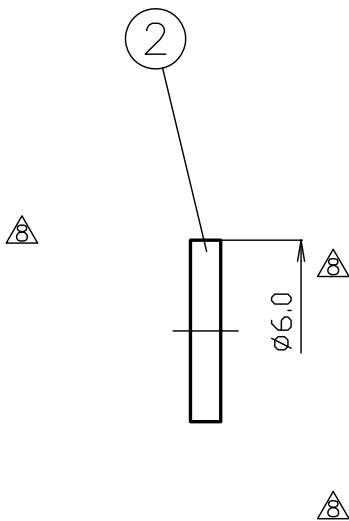
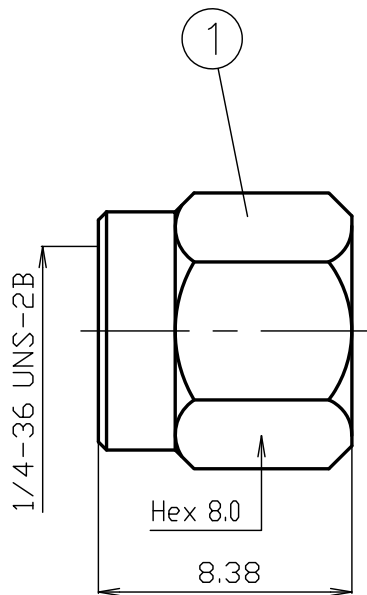


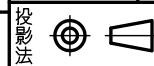
寸法削除、外径「 $\phi 6.0$ 」「 $\phi 7.5$ 」追記 2024.01.18

番号	変更・記事	日付	確認
△	社名変更	2012.07.24	済
△	外觀図面化	2016.03.29	済
△	RoHS表記 追記	2016.03.29	済
△	図番変更「J-1112508」→「X-1116132」	2024.01.18	(出本)
△	部品名変更「シェル」→「本体」	2024.01.18	(出本)
△	保持リング材質変更「ベリリウム銅」→「ステンレス」	2024.01.18	(出本)
△	保持リング表面処理変更「Ni」→「--」	2024.01.18	(出本)



RoHS Compliant $Gd \leq 75ppm$	
REMARKS	BRASS: Cd $\leq 75ppm$ PHOSPHOR BRONZE: Pb $< 4wt\%$

番号	部品名	材質	数量	処理	備考	単位	製図	検図	承認	確認	品名
7						尺 4/1	渡邊	檜	山	三	SMAP-402S(Au)
6							'24.01.18	'24.01.18	'24.01.18	'24.01.18	
5							直弘	澤	本	村	
4	△ 本体	ステンレス	1	Au							
3	保持リング △	ステンレス	1	--	△	単位 mm					
2	ガスケット	シリコンゴム	1	--		日付 2006.02.14					
1	接続ナット	ステンレス	1	Au							
番号	部品名	材質	数量	処理	備考		投影法				図番 X-1116132 △



仕 様 書

品 名 SMAP-402S (Au)

No. 1111020

図 番 X-1116132

定 格 1 参考規格 IEC 60169-15、JEITA RC-5234

2 定格電圧 AC 500V

3 定格周波数 18GHz

4 公称インピーダンス 50Ω

5 使用温度範囲 -55℃～+115℃

6 使用湿度範囲 95%RH以下 (結露無きこと)



株式会社 **トーコネ**
TO-CONN CO., LTD.

項 目		条 件	規 格
1 2 3	構造及び形状寸法	添付図に示す	異常のないこと
	材 質	(図番 : X-1116132)	
	仕上げ及び表示		
4 5 6 7	絶縁抵抗	DC 500V	5000MΩ 以上
	耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流 又は直流で1mVを超えない方法にて	外部導体間 : 2mΩ 以下
	電圧定在波比	DC～18GHzまで	1.25以下
8 9 10	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
	ケーブル引張強度	軸方向引張力 245N以上	異常のないこと
	結合部接続強度	軸方向引張力 180Nを加えたとき	接続ナットに 異常のないこと
11	耐食性	5%塩水で連続48時間試験をした後、 コンタクトを10回抜き差し後	耐電圧は5の項を満足し 接触抵抗は50mΩ 以下
12	その他	適合ケーブル	0.141セミリジッド、RG-402/U

変更履歴		日付
1	社名変更	2012.01.05
2	周波数 12.4GHz→18GHzに誤記修正	2015.03.11
3	参考規格 MIL-C-39012→IEC 60169-15に誤記修正	2015.03.11
4	図番変更「J-1112508」→「X-1116132」、定格電圧変更「330V」→「500V」	2024.01.18
5	参考規格「JEITA RC-5234」・使用温度・使用湿度範囲追記	2024.01.18
6	接触抵抗「内部導体間」削除、電圧定在波比変更「1.05+0.01F」→「1.25以下」	2024.01.18
7	ケーブル引張強度変更「196N以上」→「245N以上」、適合ケーブル追記	2024.01.18
8	結合部接続強度変更「170N以上」→「180N以上」	2024.01.18
9	結合部接続強度変更「ねじ部の変形などの」→「接続ナットに」	2024.01.18

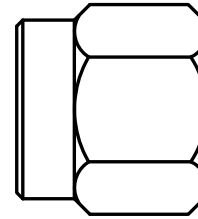
確 認	承 認	検 印	作 成
 三村 24.01.18	 山本 24.01.18	 檀澤 24.01.18	 渡邊 直弘 '24.01.18

SMAP-402S(Au) 取付仕様書

適合ケーブル

0.141 Semi-Rigid, RG-402/U $\Delta\Delta$

部品構成



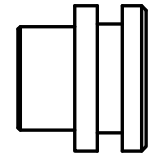
接続ナット



ガスケット



保持リング



本体 Δ

図番

X-1116132 Δ

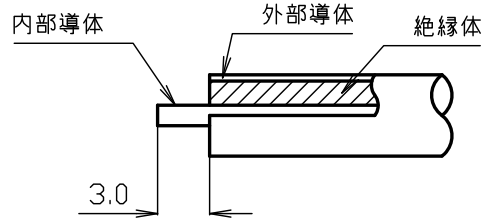
製図 検図 承認 確認

渡邊
'24.01.18
直弘

檜
'24.01.18
澤

山
'24.01.18
本

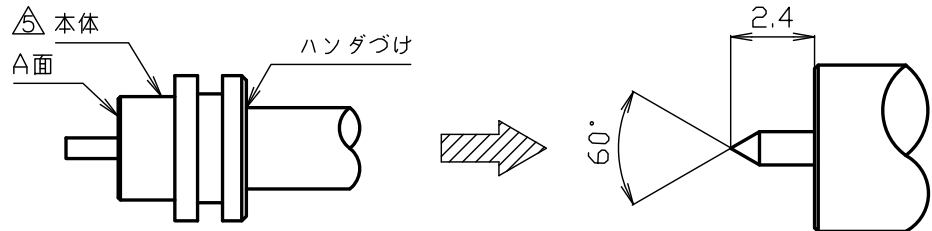
三
'24.01.18
村



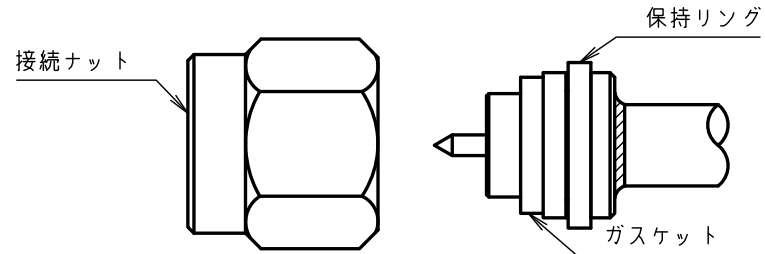
(mm)

Δ	適合ケーブル「RG-402/U」追記	2024.01.18	Δ	番号	変更・記事	日付	確認
Δ	部品名変更「シェル」→「本体」	2024.01.18	Δ	Δ	社名変更	2012.01.05	Δ
Δ	作業工程「1」「2」全面改訂	2024.01.18	Δ	Δ	適合ケーブル 追記	2013.11.25	Δ
Δ			Δ	Δ	図番変更「J-1112508」→「X-1116132」	2024.01.18	Δ

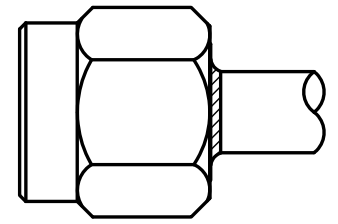
1 同軸ケーブルを図中の寸法で切り取る。
※注意：各切断面は軸方向に対して、垂直になっていること。



2 ケーブルに本体を装着する。このとき、本体の面(A面)とケーブルの外部導体の端面を同一面に合わせる。その後図中の位置にハンダ付けをおこなう。その際、A面側にはみ出したハンダやケーブルの絶縁体を除去すること。その上で内部導体の先端を図中の通りヤスリ等で加工をおこなう。
※注意：ハンダ時の熱で、ケーブルの絶縁体が伸びて来ない様に押さえながら加工すること。



3 ケーブルを装着した本体にガスケットと保持リングを組み込む。組み込んだ保持リングを締めながら、本体に接続ナットを組み込む。



4 接続ナットを回し、本体が組み込まれているか確認する。